

合格は、教室での『Very Good』がもたらしてくれました！！

「先生、受かりました(@@;)！」

「えーっ?!ちょっとみんな(電話口の向こう側の職員に向かって)、〇〇、合格したって!!おめでとう、おめでとう!!やったね!!」

11月の初旬、合格したことを報告する電話口の向こう側で、ひとみ先生が自分のことのように喜んでくださっています。

受験の直前までハラハラさせていた息子です、親の私たちは、合格したことを信じられるのに時間がかかりました。

先生の声で少しずつ、本当に合格したんだ...という実感が湧いてきました。

息子は本当にギリギリまでやる気も頑張る気持ちも見えず、もうダメかもしれないと何度もくじけそうになりました。「間に合うかどうかは彼次第。自覚が持てるかどうか、自分の我が儘な気持ちに勝てるかどうか勝負よ。」そういつて先生は、泣きながら息子に手紙を書いてくださいました。

何とか彼に受験の自覚を持ってもらいたくて、必死だったのです。ちょうど受験の4日前の夜ことでした。その夜から彼は変わりました。最後の3日間の特訓では、朝から晩まで難しい問題をビッシリこなします。大人でさえも集中力を保つのに大変でしょう。でも息子はそれをやり遂げました。私たちは、その姿にどんなに感動したことか！

そしてここまで導いてくださった先生の根気と真剣さに、どんなに深く感謝したことか！私たちの受験は、マスコミ報道されている公立小学校の話に恐れおののき、だったら私立も検討しようというぐらいの、まったく単純な気持ちから始まりました。

そうは言っても何をどうしたら良いのかまったくわからず、教室に入会するま

で一切学習をさせたことがありませんでした。そんな私たちがひとみ先生にお世話になることを決意したのは、教室卒業生の「ひとみ先生は信頼できる！」のひと言でした。

早速私はひとりで塾に伺い、授業風景等見せていただきましたが、子供たちの自信にあふれ授業に積極的に臨む姿を見て、とても我が子と同じ歳とは思えず、愕然として帰った覚えがあります。

ひとみ先生の「大丈夫。連れておいで。」の言葉を半分信じて、半分泣きながら子供を連れて行き、案の定集中力が1時間と保たず、「もうやだ、疲れた」と涙目になっている子供が可哀想なのと、がっかりと、不安と、自分たちの選択への迷いを感じたものです。

でも親の不安をよそに、子供の集中力は回数を重ねるごとに着いてきました。それは解らない子供にも解るまで教えてくださる先生の根気や、理解できて問題が正解だった時に「Very Good」と押してもらえる判こが子供には嬉しいようで、判こをもらうために一生懸命だったようです(笑)。そして今思えば、この「Very Good」をもらえたことが子供の自信につながる初めの1歩だったのではないかと思います。彼は勉強に限らず、今までできなかったことがひとつずつできるようになって行きました。虫に触れるようになった、買い物にひとりで行けた、ひとりで留守番した等々…ものすごいスピードで成長する我が子の姿を見るたびに、私たちは深く考えさせられました。

今までの自分たちの子育ては、正しかったのだろうか？勉強以外ではどんどん自信を持つようになった我が子ですが、どうしても受験の自覚や勉強へのやる気は備わってくれません。私たちは焦り、時には怒鳴ったり泣いてみたり、毎日が試行錯誤でした。自信がもてなくて苦しくて、何度も先生にメールし、アドバイスをいただきました。先生は必ず返信して下さいます。その言葉に私たちは救われ、負けないで頑張ろうと意欲が湧き、また試行錯誤を繰り返しました。

これら戦いの日々を経て、彼はものすごいスピードで成長しました。「遅れを取

り戻した」といった方が良いのかもしれませんが。受験前の最後の3日間でラストパートが叶い、勢いづいて11月の試験に臨むことができました。

「もうこの子は間に合わないかもしれない。」という私たちの思いを、最後まであきらめるな、頑張れ！と見捨てないでくださった先生の思い。私たちの受験は、この先生の思いがなければ成し遂げられなかったでしょう。この半年間で、私たちは先生の生き様を見せていただきました。

そしてひとみ先生との出会いを通して、今までの自分のあり方、今後の自分のあり方を見直したいと思うようになりました。このような形にならない様々な財産を築かせていただき、先生へのお礼の言葉が見つかりません。

ひとみ先生と出会えた事は、私たちの一生の宝です。一生懸命生きることの気持ち良さ、やり遂げた時の達成感、今まで味わったことのない極上の味でした。

これから受験をなさる方々も、そんな「宝の時」を過ごせることを願っています。